誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指して

～地域支えあいマップを活用した住民連携～

H23.7．１日本慢性期医療学会

富山県･医療法人社団　紫蘭会
高陵･下関地域包括支援センター

医療法人社団　紫蘭会

光ヶ丘病院

小規模多機能

介護老人保健施設
おおぞら

通所リハビリ

訪問看護

地域医療連携室

ケアハウス

グループホーム

訪問リハビリ

人間ドック

通所リハビリ

居宅介護支援

短期入所

居宅介護支援

短期入所

福祉用具レンタル

地域包括支援センター

地域福祉力向上プロジェクト

- 地域支えあいマップを作ろう！！！

- 住民が住民の手で作るマップを。
- 地域の福祉力を高める為のツールとして。

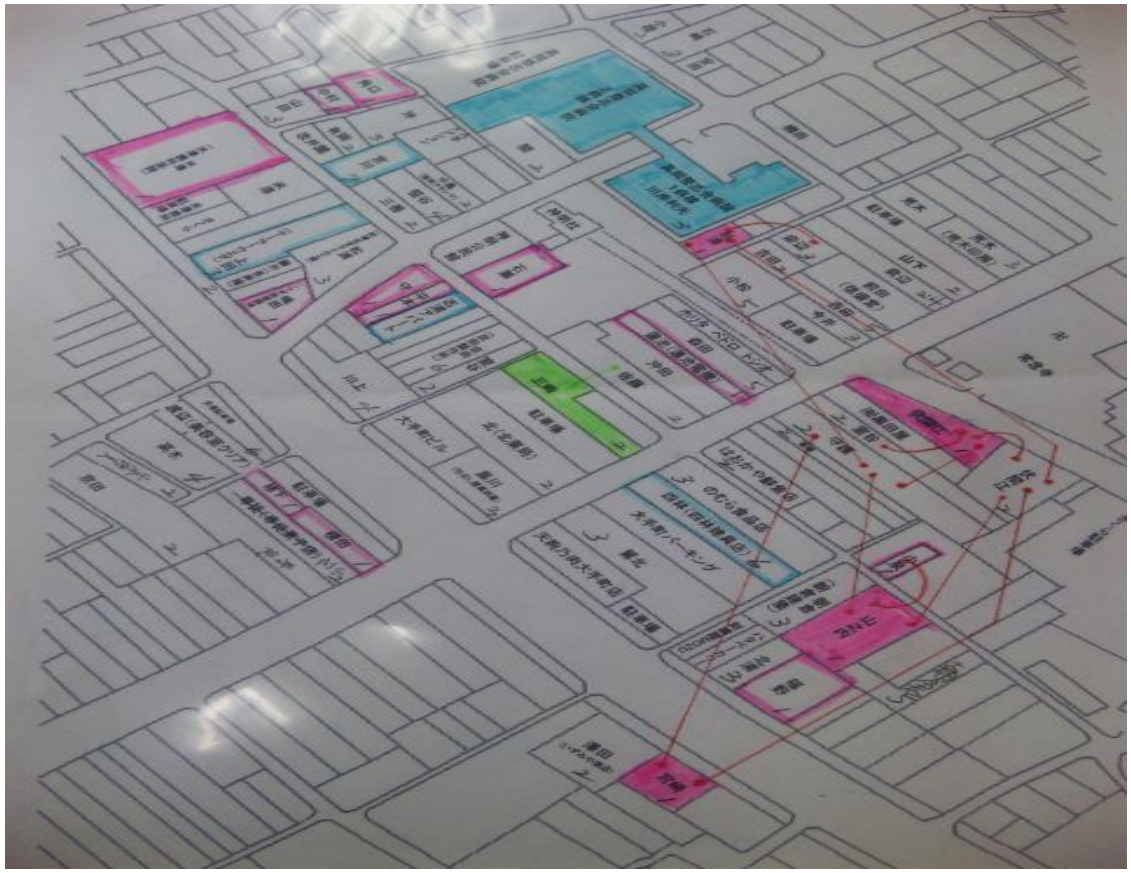
地域支えあいマップの手法

- 近所の方に集まってもらう
- 一人暮らしや閉じこもり、心配な方をチェック
- 近隣の社会資源をチェック
- 誰が誰の支援をしているか、見守りや差し入れをしているのは誰かを線でつなぐ
- 出来上がった地図を見て、検討

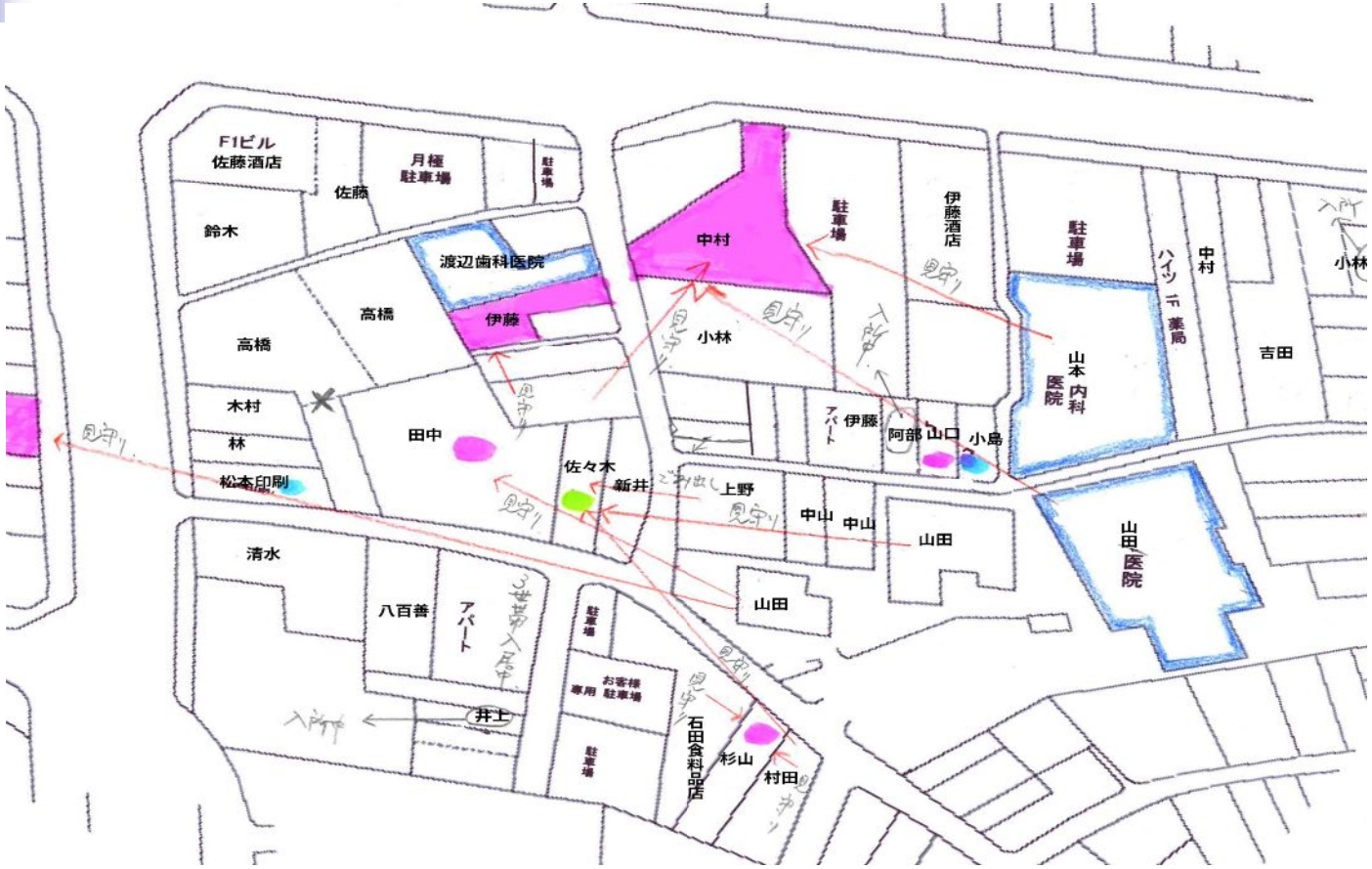
地域支えあいマップの手法2

- 出来上がった地図を見ながら、他者とのかかわりの無い人、もう少し見守りが必要な人などを見つける
- 人と人との関わりの中で、解決策を探る
- 強化したい社会資源と、その活用方法を検討する
- その他地域の実情に合わせて活用する

地域支えあいマップ



支え合いマップ例


F1ビル
佐藤酒店
佐藤
月極
駐車場
駐車場
鈴木
渡辺歯科医院
伊藤
高橋
高橋
木村
林
松本印刷
田中
佐々木
新井
清水
八百善
アパート
井上
駐車場
お客様専用駐車場
駐車場
石田食料品店
杉山
村田
中村
駐車場
伊藤酒店
小林
伊藤
アパート
阿部
山口
小島
上野
中山
中山
山田
山田
駐車場
山本内科医院
ハイツIF薬局
中村
吉田
小林
山田医院
見守り
入所中
ごみ出し
3世帯入居中

地域へのアプローチ

①普段の地域活動や、関係諸機関・関係者との会議などを通じて、地域で困っていることを知る

・高岡市で2番目の高齢化の高い地域（小学校区）
（高齢化率31％）

・一人暮らし率の高さ
※65歳以上2955人中、290人が独居
高齢者のみの世帯はその数倍

・増える外国人

・減る児童

・なくなる老人会・・・

地域へのアプローチ

②民生委員に対する研修（民生委員：55名）

③ファシリテーター養成（地域住民：8名）

④民生委員研修　　（デモ作成会：55名）

⑤福祉活動員研修　（デモ作成会：60名）

⑥自治会との話し合いと研修

（実際の町内での作成会：70名）

⑦各町内別での作成会へ

（参加町内55ヶ所：1町内4~5名参加）

町内別福祉マップ作成会

地域支えあいマップ作成の効果

＜地域住民のコメントから＞

- 自分の地域のことが本当によく分かった
- 地図を見ると人を思い出すので見落としが無い
- 人と人とのつながりは、相性が大切なことがわかった
- さりげない、見えない支援をしていきたい
- 地域住民の支え合い活動に自信が持てた

地域のその後

- 民生委員や自治会長への相談ルートが明確になり、地域のニーズが上がりやすくなった
- ファシリテーターとなった住民は、他の小学校区で、活動紹介に招かれるなど、他の地域でも活躍するようになった
- 各町内では自主的に見直しを図っている

考察

- 地域支えあいマップ作成を通じ、地域に暮らす住民がお互いに顔の見える支援を考えることができた。
- 地域に住む福祉関係者が自信を持って取り組めるようになった。
- 住民自らが考え、住民の力でその地域の福祉を作り上げていく一助となった。

- 参考文献

「支え合いマップ作成マニュアル」

住民流福祉総合研究所

- 協力

定塚校下社会福祉協議会・民生委員

連合自治会・福祉活動員・住民の皆様

- 助言指導

住民流福祉総合研究所　木原　孝久氏

第19回日本慢性期医療学会

御清聴ありがとうございました。